

BLS0 プロバイダーコース in 宮崎 2015



ALS0コースとは、米国家庭医療学会（AAFP）が主催する、分娩を主とした産科救急に対応すべく開発されたコースであり、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALS0の受講を義務づけられている。日本では、2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが中心となり、対象を産婦人科医師のみならず、救急医やプライマリケア医、助産師・看護師、そして救急救命士等に対してALS0 セミナーを展開している。

日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対するALS0コースに対し、「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダー全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立ち、周産期のより切迫した内容へ対応するために基本的なトレーニングコースとして作成されたのがBasic Life Support in Obstetrics (BLS0) プロバイダーコースである。

日本におけるコースの内容は、受講対象者を救命救急士、救急科の看護師・医師、家庭医などの、日頃は産科医療に関与していないが、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある者を対象としている。コース内容は講義とマネキンを用いた実習が中心であり、①妊婦の評価、②車中などでの分娩介助、③新生児蘇生、④産後大出血を中心とした妊婦蘇生となっている。BLS0コースを受講し、試験に合格した場合、参加者はAAFP ALS0-Japanが認定する5年間有効な認証を受ける事ができる。

名 称：BLS0プロバイダーコース in 宮崎 2015

主 催：宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター

共 催：NPO法人 周産期医療支援機構

日 時：2015年2月21日（土）、22日（日）の2日間（各1日コースとして開催）
8：30～17：30

会 場：宮崎大学医学部附属病院内会議室（予定）

定 員：両日とも12名まで

参加費：10,000円（昼食代を含む）

申し込み方法：12月15日（月）～26日（金）の間、専用サイトから募集

<http://my.formman.com/form/pc/VkZgGX8q00CfrRGi/>

備 考：宮崎県内に従事している方で、将来的に宮崎県内開催のコースを担っていただける意志がある方を優先させていただきます。

コーススケジュール（予定）

08:30~09:00	受付
09:00~09:10	オープニング
09:10~10:10	妊婦の評価
10:20~11:30	分娩介助
11:40~12:40	新生児蘇生
12:40~13:20	昼食
13:20~14:20	産後大出血・妊婦蘇生
14:30~15:00	救急車内分娩
15:00~15:10	写真撮影
15:10~17:30	筆記テスト・症例検討会/実技練習・実技試験
17:30~	閉会

